

2

長時間労働に頼らないことと、生産性の向上が両立できていますか

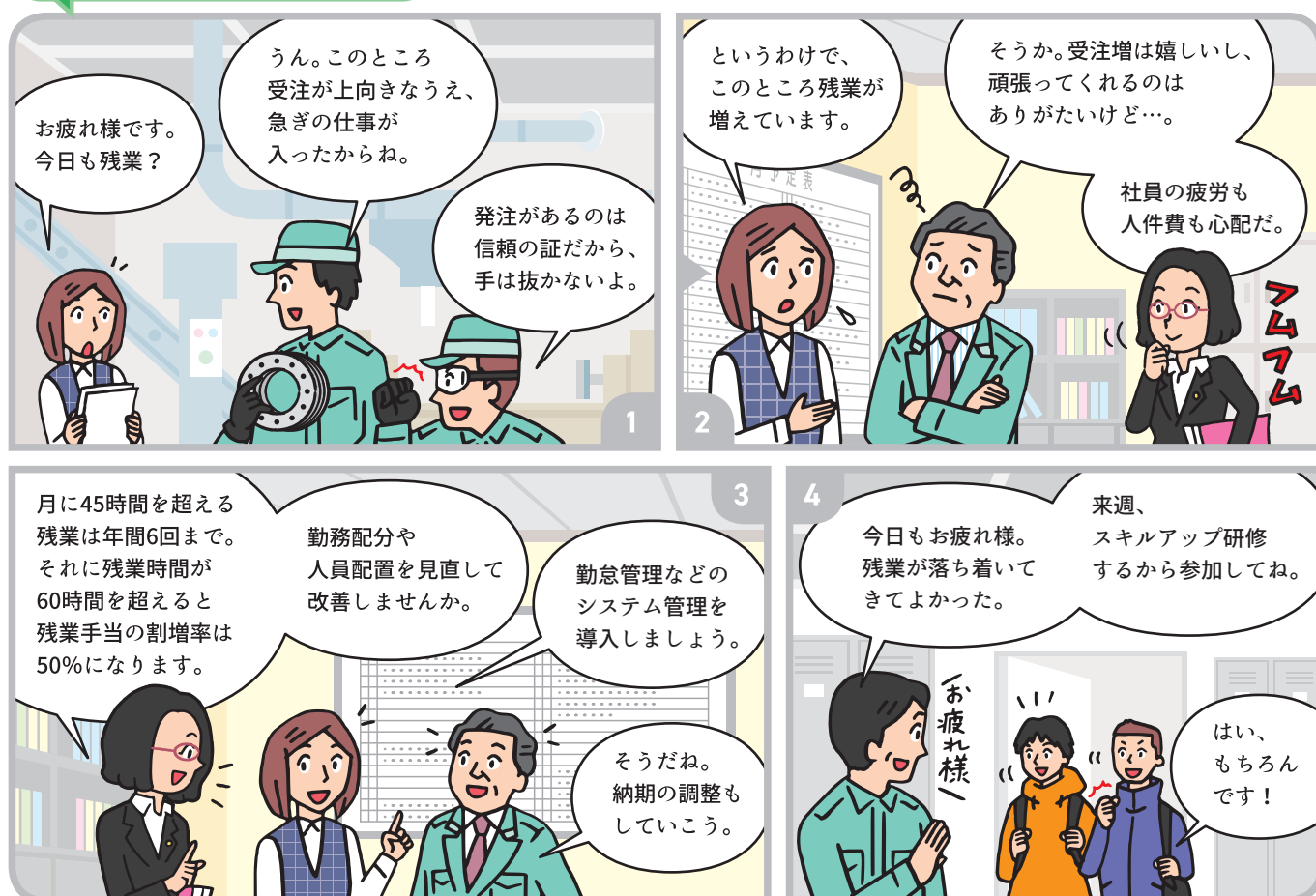
長時間の残業が続くと人件費がかさむだけでなく、従業員の疲労も気になります。長時間労働が必要な業務や時間をしっかり確認し、業務の見直しや人員の再配置、作業効率化のための設備導入などで生産性の高い職場に変えましょう。

注目!

時間外労働(残業)割増賃金率

2023年4月から、中小企業も月60時間を超える時間外労働(残業)の割増賃金率が25%から50%に引き上げられています。月60時間を超える時間外労働については、代替休暇制度を設けることも可能です。

ある金属加工業者の場合



Check

- 労働者一人ひとりの労働時間・業務量・スキルを把握できていますか。 ☐ はい ☐ いいえ
- 1か月、1年の中でどの時期に時間外や休日労働が増えているか把握し、それを解消する方法(変形労働時間制の導入、人員配置など)を検討できていますか。 ☐ はい ☐ いいえ
- 不要不急な残業や持ち帰り仕事をしていないか、日々チェックをしていますか。 ☐ はい ☐ いいえ
- 時間外労働が60時間を超えた場合の割増率は、法定以上になっていますか。 ☐ はい ☐ いいえ
- 時間外労働の削減を促進する設備やシステムの導入などを検討していますか。 ☐ はい ☐ いいえ